授業科目　社会保障論Ⅰ

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・健康・社会
横山　和彦	開講時期	後期	必修･選択	選択・選択・選択・選択・必修
	単位数	2	時間数	30

＜概要＞

本講義群（社会保障論Ⅰ・Ⅱ、社会福祉政策論Ⅰ・Ⅱ、公的扶助論）は、日本の社会保障の施行過程を、日本資本主義の展開にあわせ分析、意義づけることを究極の目的とする。従来の社会保障研究は、社会保障制度の仕組みを解説したものが大部分であった。それらは社会体制との関連がなく、断片的なものに終わっている。また、社会保障の実施過程を分析したものはほとんどない。社会科学以前の社会保障の恣意的なあるべき姿を論じたものである。本講義は、実証的に社会保障の体制維持の機能を明らかにする。

〈学習目標〉

日本の社会保障を１９４５年をさかいに、前史と（本）史とに区分する。日本の社会保障、敗戦意向１９６０年代の初頭にかけて体制化された。そうして、１９７０年代当初に重要政策課題となり、充実の道を歩いた。ここで初めて、社会保障制度論が講じられる。１９８０年代に入ると「財政再建」のもとに社会保障制度の一連の「制度改革」が実行され、縮小再生産的施行が行われている。これらのことの教

回数	授業計画又は学習の主題		SBO番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1～3	序章	社会保障制度研究の課題と方法		講義
4～7	第1章	国民生活と社会保障		講義
8～10	第2章	社会保障の概念		講義
11～14	第3章	社会保障の制度体系		講義
15	試験			

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書	日本社会保障の歴史	横山和彦	学文社	1991年･2800円
参考書	社会保障論	横山和彦	有斐閣	1978年
	福祉国家（第6巻）	東京大学社会化研究所編	東京大学出版会	1984～1985年
	転換期の福祉国家（第2巻）	東京大学社会化研究所編	東京大学出版会	1991年
その他の資料				

【評価方法】

筆記試験

【履修上の留意点】

授業中の飲食、男子学生の着帽、私語などの禁止